



2026 年 9 月 11 日

各 位

会 社 名 株式会社 O S G コーポレーション
代表者名 代表取締役社長 山田 啓輔
(コード：6757 東証スタンダード市場)
問合せ先 取締役管理本部長 溝端 雅敏
(TEL. 06-6357-0101)

2027 年 1 月期第 2 四半期(中間期) 業績予想値と実績値との差異に関するお知らせ

2026 年 3 月 13 日に公表した 2027 年 1 月期第 2 四半期(中間期)の業績予想値と本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。なお、2027 年 1 月期通期業績予想に変更はありません。

1. 2027 年 1 月期 第 2 四半期(中間期)業績予想値と実績値との差異

(2026 年 2 月 1 日～2026 年 7 月 31 日)

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に帰属 する中間純利益	1 株当たり 中間純利益
前回発表予想 (A)	4,330	250	250	150	28 円 80 銭
実 績 値 (B)	4,085	123	128	56	10 円 77 銭
増 減 額 (B－A)	△244	△126	△121	△93	
増 減 率 (%)	△5.6	△50.7	△48.8	△62.5	
(ご参考) 前期第 2 四半期(中間期)実績 (2026 年 1 月期第 2 四半期)	4,170	168	180	123	23 円 75 銭

2. 差異の理由

売上高につきましては、水関連機器事業、メンテナンス事業及び HOD（水宅配）事業が概ね計画どおりに推移したものの、F O O D 事業において、中華総菜の製造・販売部門における新工場の稼働に伴い進めている販路拡大が計画を下回ったことなどにより、予想を下回る結果となりました。

営業利益及び経常利益につきましては、前述の売上高減少要因に加え、メンテナンス事業における人的資本投資、HOD（水宅配）事業における営業体制再構築に伴う人員強化等の先行費用、並びに F O O D 事業における新工場稼働に伴う減価償却費等の固定費及び人員投下に係る費用負担が先行したことなどにより、予想を下回る結果となりました。なお、これらの費用は将来の事業成長及び収益基盤強化に向けた投資であります。

3. 今後の見通し

2027 年 1 月期通期連結業績予想につきましては、第 2 四半期（中間期）までの業績は計画を下回って推移しておりますが、下期の事業進捗状況等を勘案し、現時点では業績予想に変更はありません。なお、今後の業績動向等により修正が必要と判断した場合には速やかに開示いたします

(注) 当資料に記載の業績予想等につきましては、現在入手可能な情報をもとに、当社が計画、予測したものであります。実際の業績等は、今後の様々な条件、要素により当資料の見通しとは異なる結果となる可能性があります。

以 上